

1. 建物概要										
建物名称	県営住宅原団地建替整備事業 1工区				BEE	3	BEEランク	S	★★★★★	
2. 重点項目への取組み度										
重点項目	得点*/満点		取組み度				評価			
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	4.1	/5	    				よい 			
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	3.2	/5	    				ふつう 			
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	4.0	/5	    				よい 			
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	3.9	/5	    				ふつう 			
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例		よい 4 点以上 		ふつう 3 点以上 		がんばろう 3 点未満 	
3. 重点項目についての環境配慮概要										
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。					内訳対応項目					
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)					得点		4.1			
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①LOW-E複層ガラス採用による開口部の温熱環境の向上。 ③カーテンと庇を組み合わせてグレアを制御。 ④性能評価劣化等級3取得予定。 ④高寿命な給排水管を採用				Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能
					Q-1	3	3.1	3.1.3	②	屋光利用設備
							3.2	3.2.1	③	昼光制御
					Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数
								2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔
								2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔
								2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔
								2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔
								2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔
					Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出
					3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上	
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦適切な断熱材とLOW-E複層ガラスによる高断熱化。 ⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。				LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制
						2			⑧	自然エネルギー利用
						3			⑨	設備システムの高効率化
						4	4.1		⑩	モニタリング
							4.2		⑩	運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水器具を採用。 ⑫スラブ断熱材にリサイクル材を採用等。 ⑫木下地等、分別が容易な下地材を使用。 ⑬有害物質を含まない材料(防水プライマー等)を採用。 ⑬ODP=0、GWP=50未満の発泡剤を用いた断熱材を使用。				LR-2	1	1.1		⑪	節水
							1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無
								1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無
						2	2.1		⑫	材料使用量の削減
							2.2		⑫	既存建築躯体等の継続使用
						2.3		⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用	
						2.4		⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
						2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材	
						2.6		⑫	部材の再利用可能性向上への取組み	
					3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用	
						3.2	3.2.1	⑬	消火剤	
							3.2.2	⑬	断熱材	
							3.2.3	⑬	冷媒	
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO2排出率を抑制している。 ⑮陳棟間隔を0.5以上とした。				LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮	
					2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善	
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)					得点		3.2			
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰CATVにより災害情報を入手可能。				Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性
								2.1.2	⑯	免震・制振性能
							2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備
								2.4.2	⑰	給排水・衛生設備
								2.4.3	⑰	電気設備
								2.4.4	⑰	機械・配管支持方法
								2.4.5	⑰	通信・情報設備
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)					得点		4.0			
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳階高を2.8m以上2.9m未満とした				Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
						3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり
								3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ
					Q-3	3	3.1		⑲	地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)					得点		3.9			
	■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上) ㉒自生種の保全に配慮、植栽条件に応じた緑地計画としている。 ㉓緑地により、良好な景観の形成に配慮。				Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出
						2			⑥	まちなみ景観への配慮
						3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (㉕持続可能な森林から産出された木材/㉖温熱環境悪化の改善) ㉖外構の舗装面に保水性ブロックを採用した。陳棟間隔を0.5以上とした。				LR-2	2	2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材
					LR-3	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善